

平成 30 年度 小規模多機能型居宅介護事業所「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 憲章会	代表者	理事長 石島 衛	法人・ 事業所 の特徴	当法人は、役員・職員の資質向上のための研修等の実施をしている。南城市からの委託事業「高齢者一時保護事業」「食の自立支援事業」「生活管理指導員派遣事業」や「夜間・休日相談事業」の受諾をしている。小規模多機能事業所では、公文学習療法や地域の脳トレへ職員を派遣し地域交流を深める努力をしている。また、利用者自身の「～したい」想いを尊重し、地域ミニデイサービスとの交流や離島海外へのふろさと訪問等を実施している。
事業所名	東雲の丘小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	管理者 平田 いづみ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	3 人	1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	4 人	19 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み ・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価 の確認	スタッフ全員が申し送り帳やちようじゅ入力システムを活用、また「きらきらノート」の記入をまめに行い情報の共有を行っている。	・地域行事への参加の拡大や運営推進会議への全職員の参加、利用者への細かい心配りが感じられた。 ・ヒヤリハット、事故等、服薬や訪問予定など個々の状況に対して全職員が共有する意識の高さが伺われる。	・職員間のバラツキも見えますが、回を増やすごとに事業所が向上している事は確かなので、自分達を信じてこれからも頑張りたい。 ・利用者を取り巻く環境など視野を広く持ち、自立支援を意識したケアを行っているのを感じた。 ・改善計画に対する記録が少なく、外部評価をする際まとめるのに少し困難である。	○事業所へ携わる全職員（パート含む）が情報共有できるよう、毎日のミーティング内容を報告し、また全業務に携われるようにしていく。 ○改善計画を記録し、運営推進会議にて報告を行う。
B. 事業所の しつらえ・環境	・外見からも小規模多機能の入口がわかるよう工夫を行う。 ・職員目線・趣味の掲示になっていないか注意を行う。	・小規模入口に看板が設置され、わかりやすく改善されていた。 ・法人には色々な事業があり、小規模事業所が分かりづらい。案内の看板を取り付ける工夫が必要である。	・事業所内の模様替えがあり、以前よりすっきりした印象です。 ・限られた空間の整理整頓は大変ですが、リスク管理にも繋がるので工夫し頑張りたい。 ・リビングの照明が暖かい雰囲気のオレンジ系なので利用者も落ち着いて過ごせると思う。 ・改善前後の写真を撮り資料として説明したい	○小規模事業所入口がわかりにくいという意見が多かった為、誰が見ても分かるよう案内の看板を取り付ける等工夫を行っていく事とする。 ○改善前後は写真を撮り資料として残し報告行う。

C. 事業所と地域のかかわり	・小規模事業所に地域の方を招く事が出来ていないため、イベント（勉強会・交流会等）を計画実行していく。	・南城市も広いので、それぞれのニーズに沿った地域との関わり方も必要だと思います。 ・地域の方を招くなどイベント交流を検討する。	・地域との連携で否定的な職員の意見（できていない）がありますが、地域のサークル活動グループの定期的な訪問等あり悪くないと思います。現在出来ている近隣地域との関係を深め継続の積み重ねが大事だと考えます。 ・地域との繋がりを考慮し、さまざまな努力をしている。職員の頑張りを感じました。	○地域への活動参加を継続し関係性を深める。 ○家族さんや地域の方との交流ができるよう実施していく。（外出支援等）
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・南城市イベント等への参加を継続する。 ・小規模の役割を地域へ伝える事を継続する。（事業所の広報誌を発行し配布発送等を行う）	・毎年地域との関わりが増えていると思います。	・利用者の出身地のミニデイ一緒に連れて行くという取り組みは、馴染みの関係性を継続すると思うので素晴らしい取り組みだと思います。 ・「ふるさと訪問」は高齢になり、外出頻度や距離が減ってしまう中、離島や海外など出身地や思い出の場所を巡るこの企画は素晴らしいと思います。	○利用者の地域行事への参加を継続して行い交流できるようにする。 ○広報誌の活用をしていき、小規模多機能事業所の役割を知って貰う（利用者、家族、行政、病院等へ配布）
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の会議内容を検討し（事例検討や勉強会・遠足等々）充実できる会議を実行していく。	・運営推進会議の中で情報交換が行われ、イベントにも少しずつ参加出来ている事は利用者にとっても嬉しい事だと思います。 ・施設内見学ができて良かった。 ・運営推進会議内容を検討し、事例検討や勉強会ができる会議を実施している。	・地域の民生員さんの意見が活発にあり事業所と地域のつながりに一役かっているのではないかと思います。介護に関して民生員さんや地域の知りたい事、また知って欲しい事を会議で収集して、出前講座などを開催してみたらどうでしょうか。 ・事業所からの報告のみならず、行政や社協、地域イベントの情報などを活発に話す時間もあっていいと思いました。	○運営推進会議にて事例発表や勉強会を実践していく。

F. 事業所の 防災・災害対策	・消防署との連携、他事業所との連携を今後も行っていく。 ・地域住民の避難場所として提供できる環境や物資を備蓄していく。 ・地域の避難場所の確認を利用者さんと共に行っていく。	・運営推進会議へ参加して皆さんと共に防災訓練が行えた。	・市役所も近くに移転してきて、災害時には頼りにされる事業所だと思います。法人はどのように対応するのか職員も知っていた方が良いと思います。 ・運営推進会議参加者と一緒に避難訓練に参加する事により、共に危機管理について考えることができ良かった。また車椅子での避難の仕方が体験できた事は良かった。毎年継続して欲しい。	○運営推進会議内や職員間で事業所の防災計画を確認しながら避難訓練を実施していく。 ○利用者さんが住んでいる避難場所の確認を継続して行っていく。
----------------------------	--	---	--	---